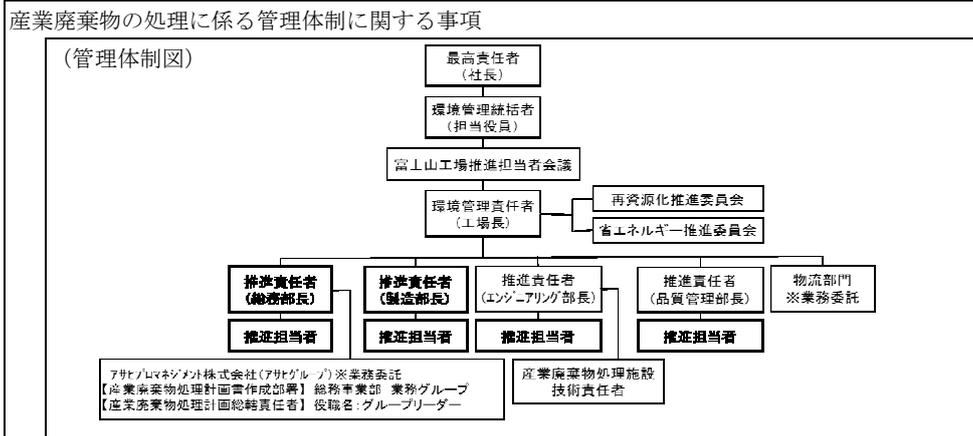


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 06 月 18 日	
静岡県知事殿	
提出者	
住 所 静岡県富士宮市北山4839-2	
氏 名 アサヒ飲料株式会社 富士山工場	
工場長 藤永 洋久	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0544 - 58 - 9988	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	アサヒ飲料株式会社 富士山工場
事業場の所在地	静岡県 富士宮 市 北山4839-2
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業
② 事業の規模	23,806千函
③ 従業員数	167名（正社員140名、それ以外の社員27名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・植物性残渣→委託処分(肥料)・有機性汚泥→脱水中間処理→委託処分(肥料)・汚泥→委託処分(造成用資材)・廃酸→委託処分(メタン発酵) (養豚飼料)・廃プラスチック類→委託処分(固形燃料化)・金属屑→委託処分(マテリアルリサイクル)・木屑→委託処分(製紙原料)・ガラス→委託処分(ガラス原料)・廃油→委託処分(再生重油)・廃蛍光灯→委託処分(ガラス・水銀・アルミ)

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	別紙1の通り	0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(これまでに実施した取組)		
(1) 発生抑制 ・ 工程内リサイクルを推進 ・ 令和3年度に麦茶ろ液処理（廃酸）を内製化実施。 (2) 再生利用 ・ 再資源化、熱料利用を推進 ・ 再生利用ルートを確認 (3) 中間処理 ・ 脱水効率の向上等による中間処理を推進 (4) その他 ・ 現在の発生する廃棄物はリサイクル100%を実施 ・ 業者の処理内容を確認し、産業廃棄物の適正処理を確保		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	別紙2の通り	0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		
植物性残渣の有価物による排出を推進し、廃棄物排出量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 場内で発生する廃棄物は、動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃プラスチック類・金属屑・木屑・廃油・廃電気機械器具・廃電池類・ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑・特定有害廃酸・強酸・強アルカリ・廃アルカリ。分別を徹底し、有価物としての排出を推進。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の細分化は現状完了している。新たな種類の廃棄物が発生した場合についても有価物としての排出を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	別紙1の通り	0.000	t
		0.000	t
		0.000	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	別紙2の通り	0.000	t
		0.000	t
		0.000	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	別紙1の通り	0.000	t
		0.000	t
		0.000	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量
	別紙2の通り	0.000	t
		0.000	t
		0.000	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量				
		0.000 t				
		0.000 t				
		0.000 t				
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量				
		0.000 t				
		0.000 t				
		0.000 t				
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	別紙1の通り	1,212.700	7,399.600	0.000	0.000	7,399.600
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(これまでに実施した取組)						

		【目標】				
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
②計画	別紙2の通り	1,252.000	7,341.900	0.000	0.000	7,341.900
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(令和5年度)実績)

別紙1
(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら中間処理により減量した量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量 (①-(②+③+④))	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う 業者への 処理委託量
動植物性残渣	4,718.2	0.0	0.0	0.0	4,718.2	284.0	4,718.2	0.0	0.0
有機性汚泥	10,445.0	0.0	8,718.8	0.0	1,726.2	20.5	1,726.2	0.0	0.0
廃酸	857.6	0.0	0.0	0.0	857.6	857.6	857.6	0.0	0.0
廃プラスチック類	63.1	0.0	0.0	0.0	63.1	16.9	63.1	0.0	0.0
金属屑	6.4	0.0	0.0	0.0	6.4	6.4	6.4	0.0	0.0
木屑	27.2	0.0	0.0	0.0	27.2	27.2	27.2	0.0	0.0
ガラス屑・コンクリート屑 及び陶磁器屑	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0
廃油	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0
合計	16,118.4	0.0	8,718.8	0.0	7,399.6	1,212.7	7,399.6	0.0	0.0

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度目標値)

別紙2
(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら中間処理により減量した量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量 (①-(②+③+④))	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う 業者への 処理委託量
動植物性残渣	4,700.0	0.0	0.0	0.0	4,700.0	300.0	4,700.0	0.0	0.0
有機性汚泥	10,000.0	0.0	8,300.0	0.0	1,700.0	0.0	1,700.0	0.0	0.0
廃酸	850.0	0.0	0.0	0.0	850.0	900.0	850.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	60.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	60.0	0.0	0.0
金属屑	6.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0	6.0	0.0	0.0
木屑	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
ガラス屑・コンクリート屑 及び陶磁器屑	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.2	0.0	0.0
廃油	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0
合計	15,641.9	0.0	8,300.0	0.0	7,341.9	1,252.0	7,341.9	0.0	0.0